

企業景況調査報告書

(令和8年4～6月期)

< 目 次 >

質問1	調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・1
質問2	直面している経営上の問題点	・・・・・・・・・・2
質問3	生成AIの活用状況について	・・・・・・・・・・3
質問4	鳥取県立美術館開館について	・・・・・・・・・・4
質問5	意見等自由記載欄	・・・・・・・・・・5
DI	集計結果・分布	・・・・・・・・・・6
調査票様式		・・・・・・・・・・7,8

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2026年4～6月）

調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社

（建設業 21 社、製造業 19 社、卸売業 11 社、小売業 21 社、サービス業・その他 28 社）

調査方法

各事業所に FAX またはメールで送付し、FAX またはメールにて返信依頼。

調査時期

令和 8 年 7 月上旬～令和 8 年 7 月中旬

回収状況

81 社（回収率 81%） ※前回（1～3 月）82 社

（建設業 20 社、製造業 17 社、卸売業 9 社、小売業 11 社、サービス業・その他 24 社）

業種別の業況 DI は、今期は 4 業種で上昇、来期も 4 業種で上昇する見通し

＜今期の状況＞（5 ページ表参照）

今期の全業種の業況 DI は、前年同期比で前期の▲12.5 から 10 ポイント上昇し、▲2.5 となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は 5.0（前期▲9.5）、製造業は 5.9（前期▲7.1）、卸売業は 11.1（前期▲10.0）、小売業は▲18.2（前期 0）、サービス業・その他は▲12.5（前期▲28.6）と、1 業種で下降、4 業種で上昇となった。

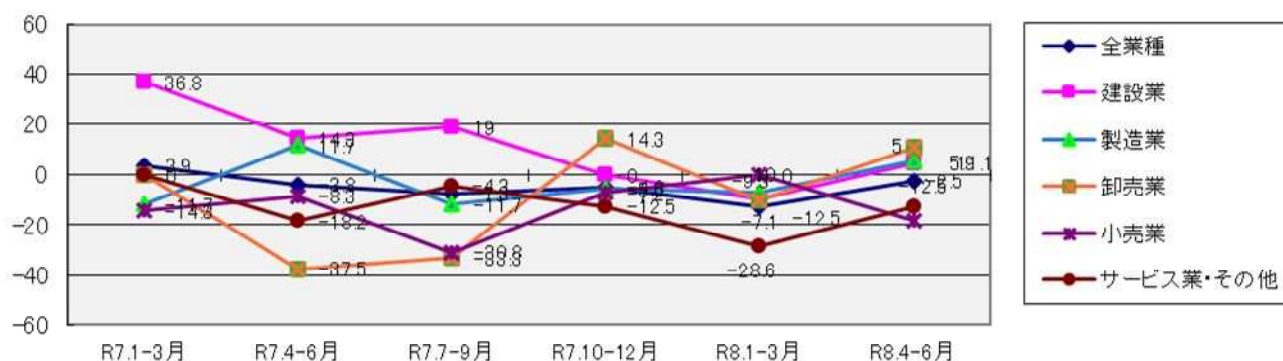
＜来期の見通し＞（5 ページ表参照）

来期の見通しでは、DI 値は前期の▲9.0 から 4.0 ポイント上昇し、▲5.0 となった。業種別に見ると建設業は 5.0（前期▲4.7）、製造業は 5.8（前期▲7.1）、卸売業は 22.2（前期 11.1）、サービス業・その他は▲20.9（前期▲25.0）と上昇する見通しであるが、小売業は▲27.3（前期▲7.2）と 1 業種で下降する見通しとなった。

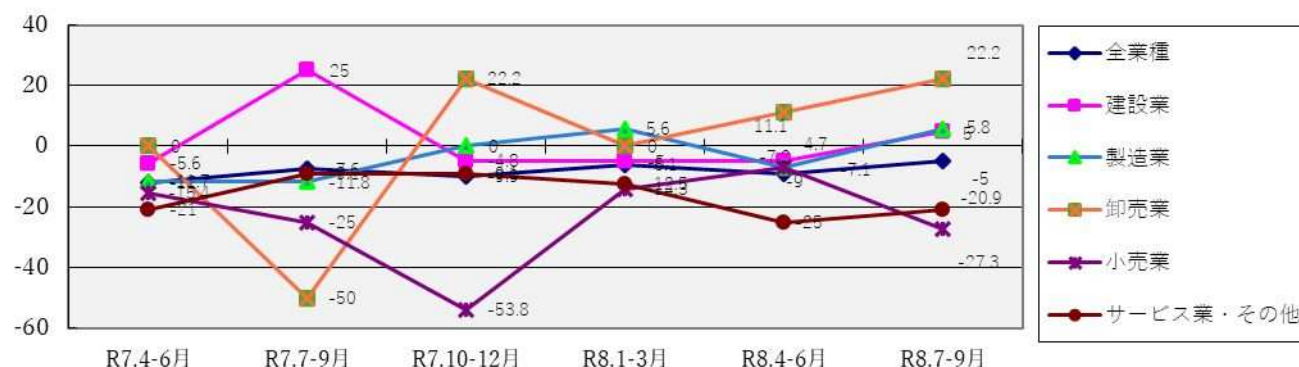
経営上の課題としては、全業種において「原材料・仕入価格の上昇」が引き続き最大の経営課題となっており、「売上・受注の減少」や「経費の増加」も上位に挙がるなど、コスト負担の増加が依然として経営を圧迫している状況がうかがえる。業種別では、建設業において「人手不足」が前回より順位を上げており、人材確保の課題が一層顕在化している。また、サービス業・その他業種では「経費の増加」が最も多く挙げられたほか、製造業でも「経費の増加」が上位となるなど、原材料価格の高騰に加え、各種コストの増加が幅広い業種で経営課題となっていることがうかがえる。

＜業況判断 DI の推移＞ ※今期の DI 値集計結果については P5 をご参照下さい。

(1) 今期の状況 ＜業種別＞



(2) 来期の見通し＜業種別＞



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分 類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	原材料・仕入価格上昇 (57)	売上・受注減少 (33)	経費の増加 (31)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (49)	売上・受注減少 (35)	経費の増加 (33)
建設業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (19)	人手不足 (10)	売上・受注減少 (9)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (13)	売上・受注減少 (12)	人手不足 (9)
製造業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (16)	経費の増加 (9)	売上・受注減少 (7) 店舗・生産設備不足・老朽化 (7)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (10)	売上・受注減少 (7) 経費の増加 (7)	利益率低下 (5)
卸売業	当 期	競争激化 (5) 売上・受注減少 (5) 原材料・仕入価格上昇 (5)	消費・需要の停滞 (4)	経費の増加 (2) 人手不足 (2) 利益率低下 (2)
	前 期	経費の増加 (7)	競争激化 (5) 原材料・仕入価格上昇 (5)	消費・需要の停滞 (3) 売上・受注減少 (3) 人手不足 (3)
小売業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (7)	売上・受注減少 (6)	人手不足 (4)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (9)	消費・需要の停滞 (7)	売上・受注減少 (5)
サービス業・ その他の業種	当 期	経費の増加 (12)	原材料・仕入価格上昇 (10)	人手不足 (8)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (12)	人手不足 (9)	売上・受注減少 (8) 経費の増加 (8)

17 その他

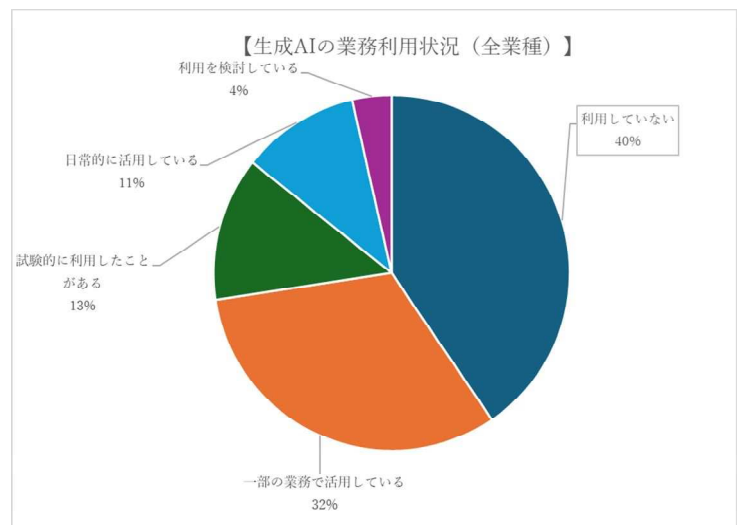
- ・包装資材の納期遅延
- ・円安
- ・熟練技術者の不足
- ・重油の確保

質問3 生成AIの業務利用状況について

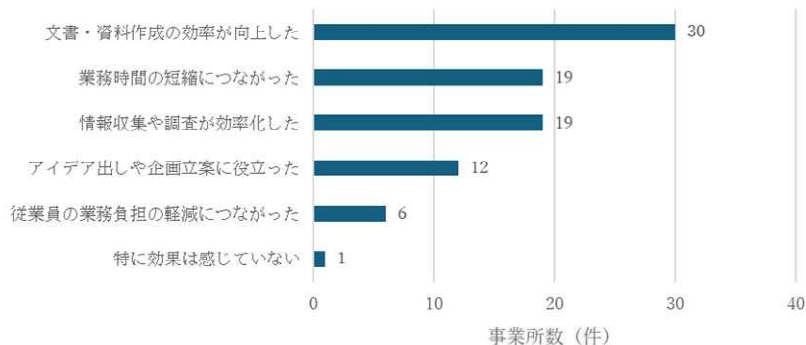
生成AI活用進む一方、導入に課題

近年、生成AIは業務効率化や生産性向上を図るツールとして急速に普及が進んでおり、企業においても活用が広がりつつある。一方で、情報セキュリティへの懸念や活用方法に対する不安、導入効果が見えにくいことなどから、導入状況には差が見られる。こうした中、生成AIの業務利用は企業の競争力向上や人手不足への対応策としても注目されている。

調査結果を見ると、「利用していない」が40.0%で最も多く、依然として生成AIを業務に活用していない事業者が一定数存在している。一方、「一部の業務で活用している」が32.0%、「試験的に利用したことがある」が13.0%、「日常的に活用している」が11.0%となっており、約6割の事業者が何らかの形で生成AIに触れていることが分かった。また、「利用を検討している」は4.0%となっており、生成AIへの関心はあるものの、本格的な導入には至っていない事業者も一定数存在していることがうかがえる。



【AIの活用によって実感した効果（複数回答）】

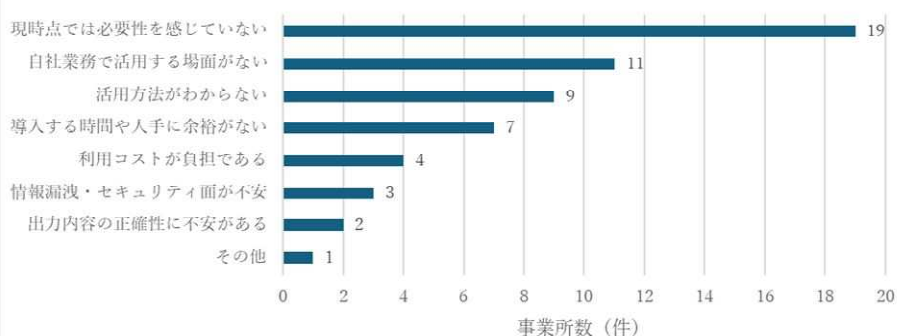


生成AIを「日常的に利用している」

「一部の業務で活用している」「試験的に利用したことがある」と回答した事業者では、実感した効果として「文章・資料作成の効率が向上した」が最も多く、次いで「業務時間の短縮につながった」、「情報収集や調査が効率化した」となった。

また、「アイデア出しや企画立案に役立った」との回答も一定数見られ、生成AIが幅広い業務の効率化や生産性向上に寄与していることがうかがえる。一方、「特に効果は感じていない」は1件にとどまり、多くの事業者が何らかの効果を実感していることがうかがえる。

【生成AIを利用していない理由（複数回答）】



生成AIを「利用を検討している」または「利用していない」と回答した事業者では、その理由として「現時点では必要性を感じていない」

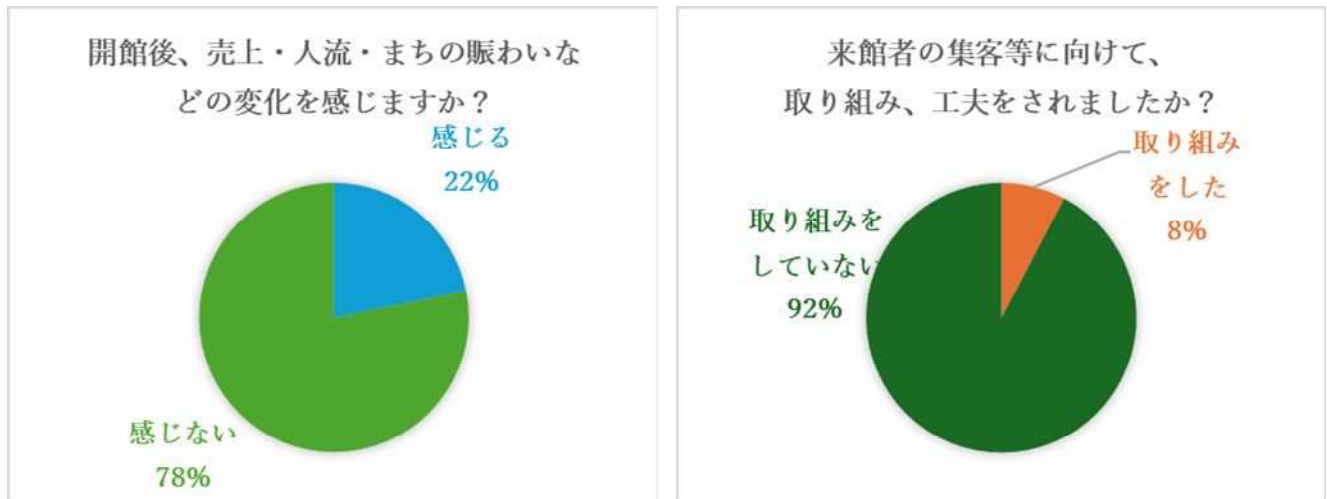
が最も多く、次いで「自社業務で活用する場がない」、「活用方法がわからない」となった。また、「導入する時間や人手に余裕がない」との回答も見られ、生成AIへの関心の有無だけでなく、活用方法や導入体制に課題を抱える事業者も一定数存在していることがうかがえる。

一方、「情報漏洩・セキュリティ面が不安」や「出力内容の正確性に不安がある」といった回答は比較的少なく、技術的な不安よりも必要性や活用イメージの不足が導入の障壁となっている状況がうかがえる。

以上のことから、生成AIは業務効率化の手段として活用が進み、文章・資料作成や情報収集、業務時間の短縮などの効果が実感されていることが分かった。一方で、未利用の事業者では必要性や活用方法が十分に浸透して

おらず、今後は具体的な活用事例の周知や導入支援が重要になると考えられる。

質問4 鳥取県立美術館の開館について



県立美術館の開館後における売上や人流、まちの賑わいなどの変化については、「感じない」が78.0%と大半を占め、「感じる」は22.0%にとどまった。また、来館者の集客等に向けた取組については、「取り組みをしていない」が92.0%と大多数を占め、「取り組みをした」は8.0%であった。現時点では、県立美術館の開館による効果を実感している事業者は一部にとどまり、来館者を自社の集客につなげる取組も限定的であることがうかがえる。

以上のことから、県立美術館の開館による地域経済への波及効果は現時点では限定的であり、多くの事業者では集客機会として十分に活用できていない状況がうかがえる。今後は、周辺事業者による誘客施策や情報発信、地域全体で来館者の回遊を促す取組を進めることで、開館効果を地域経済へ波及させていくことが期待される。

<1. 開館後、売上・人流・まちの賑わいなどの変化を感じますか？※自由記述>

- ・オープン当初は来市者が増えたが、今はあまり実感がない
- ・イベントなどにぎわいを感じる
- ・外国人観光客の来場があった
- ・集客人数の減少が目立つ
- ・多少だがまちの賑わいを感じる。
- ・集いの森のカフェ等 人の流れが増えた
- ・時期的なものかもしれないが、倉吉駅前に少し人が増えたかも？美術館に行くかわからないが、外国人が増えた。
- ・団体での利用減少（公民館の団体等は去年は多くあった）
- ・人が歩いている
- ・イベントが増えて、人が集まっているように感じられる

<2. 来館者の集客等に向けて、取り組み・工夫をされましたか？※自由記述>

- ・広告
- ・青年団体でのイベント
- ・のぼり
- ・月曜日が休みのため利用できない
- ・今は行っていない

質問5 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・仕入価格、住宅ローン金利共上昇しており、建築をあきらめる方もあるのではと心配しています。減税等すみやかにして欲しい。
- ・景気が悪くなる一方で、業者への負担の軽い貸付とか紹介をしてほしい。

【製造業】

- ・とにかく困っています。将来的に不安です。
- ・原材料等の値上げにより、価格転嫁が追いつかず収益が圧迫されている。

【サービス業】

- ・行政の協力を期待したい。また民間企業への手助けで実効性を求める。最低賃金上昇についてどう考えているのか？
- ・解体処分とりわけアスベストの処分への補助を期待します。ダウンサイジングやリノベーションなど、事業展開の足かせになっています。
- ・当社は、土木技術関連のサービス業ですが、中部地区の高校に土木（建設）専門の学科が無くなっていますが、復活させていただきたいと思います。やはり、不景気になれば需要を生み出すためにも、公共事業が必要になると思いますし、災害復旧事業にも地域のためにも必要な人材を確保してもらいたいと思います。
金利の上昇について、やめてほしいです。インフレ抑止とか言っているが、実は企業の生産コストを上げて景気を悪化させるだけではないかと思っています。
- ・店舗の修繕費、設備故障による入れ替えにコストがかかっている。
- ・4月末をもって一店舗閉店した。開店して8年と4カ月の半分以上はコロナの影響で軌道に乗せることができなかった。
- ・6月以降売上が下がっています。物価高の影響でしょうか。
- ・人件費高騰、利益率低下、経費が増えて、他社と比較して宿泊費用をなかなか上げられない。

D I 集 計(前年同期比＝2025年4～6月期、来期の見通し＝2026年7～9月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.4	-7.5	33.8	28.7	-12.4	-17.5
製造業	11.8	5.9	41.2	35.3	-11.7	-11.7
非製造業	-6.1	-11.1	31.8	27.0	-12.5	-19.1

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-3.8	-6.3	1.2	-1.2	2.5	5.1
製造業	-5.9	-5.9	0.0	0.0	35.3	17.6
非製造業	-3.1	-6.5	1.6	-1.6	-6.4	1.7

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.5	-5.0
製造業	5.9	5.8
非製造業	-4.7	-7.9

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.4	-7.5	33.8	28.7	-12.4	-17.5
建設業	-5.3	-5.0	26.3	25.0	-5.0	-5.0
製造業	11.8	5.9	41.2	35.3	-11.7	-11.7
卸売業	33.4	25.0	55.6	62.5	11.1	0.0
小売業	-9.1	-36.4	27.3	27.3	-18.2	-18.2
サービス業・その他	-18.5	-16.6	29.2	16.6	-25.0	-37.5
非製造業	-6.1	-11.1	31.8	27.0	-12.5	-19.1

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-3.8	-6.3	1.2	-1.2	2.5	5.1
建設業	0.0	10.0	15.0	10.0	-15.0	0.0
製造業	-5.9	-5.9	0.0	0.0	35.3	17.6
卸売業	11.1	-12.5	0.0	0.0	11.1	22.2
小売業	0.0	0.0	-10.0	-10.0	-18.2	0.0
サービス業・その他	-12.5	-20.8	-4.1	-8.3	0.0	-4.6
非製造業	-3.1	-6.5	1.6	-1.6	-6.4	1.7

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.5	-5.0
建設業	5.0	5.0
製造業	5.9	5.8
卸売業	11.1	22.2
小売業	-18.2	-27.3
サービス業・その他	-12.5	-20.9
非製造業	-4.7	-7.9

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気・弱気などの景気感の相対的な広がり**を意味するものです。DI＝(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(2026 年 4～6 月期) ※2 枚目のご回答もお願いいたします。

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191
FAX:22-2193

【質問 1】前年同期と比較した今期(2026 年 4～6 月)の状況と、今期と比較した来期(2026 年 7～9 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数 人(うち正規雇用者 人)			
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問 2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- 0 1 競争激化

0 2 消費・需要の停滞

0 3 売上・受注減少

0 4 売上・受注単価低下

0 5 原材料・仕入価格上昇

0 6 原材料・在庫不足

0 7 原材料・在庫過剰

0 8 店舗・生産設備不足・老朽化

0 9 店舗・生産設備過剰

1 0 経費の増加

1 1 人手不足

1 2 人手過剰

1 3 利益率低下

1 4 代金回収難

1 5 資金繰り難

1 6 新分野進出

1 7 その他：具体的に

回答欄

1 位

2 位

3 位

【質問 3】業務効率化や生産性向上の手段として、生成AI（ChatGPTなど）の活用が広がっています。生成AIの活用状況や活用による効果についてお答えください。

1. 生成AI（ChatGPTなど）の業務利用状況について、最も近いものを選択肢から 1 つお選びください。

- ① () 日常的に活用している

② () 一部の業務で活用している

③ () 試験的に利用したことがある

④ () 利用を検討している

⑤ () 利用していない

2. 【1. で「日常的に活用している」「一部の業務で活用している」「試験的に利用したことがある」と回答した方】
生成AIの活用によって、実感した効果について選択肢からお選びください。（複数回答可）

- ① () 業務時間の短縮につながった

② () 文書・資料作成の効率が向上した

③ () 情報収集や調査が効率化した

④ () アイデア出しや企画立案に役立った

⑤ () 従業員の業務負担の軽減につながった

⑥ () 特に効果は感じていない

⑦ () その他 ()

3. 【1. で「利用を検討している」「利用していない」と回答した方】

生成AIを利用していない（利用が進んでいない）理由について選択肢からお選びください。（複数回答可）

- ① () 活用方法が分からない

② () 自社業務で活用する場面がない

③ () 出力内容の正確性に不安がある

④ () 情報漏えい・セキュリティ面が不安

⑤ () 導入する時間や人手に余裕がない

⑥ () 利用コストが負担である

⑦ () 現時点では必要性を感じていない

⑧ () その他 ()

【質問4】オープン1周年を迎えた鳥取県立美術館開館について改めてお聞きします。

1. 1年前と比べて、売上・人流・まちの賑わいなど何か変化を感じますか。

() 感じる

※具体的な変化についてご記入ください

(

)

() 感じない

2. 開館直後から現在において、美術館来館者の集客等に向けて何か取組み・工夫をされていますか。

() 行っている

※行った取組みについてご記入ください

(

)

() 行っていない

【質問5】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。